

鉄砲伝来

天文12年(1543)8月25日種子島の南端、門倉岬にポルトガル人を乗せた1隻の明国船が漂着しました。14代島主種子島時堯は、彼らが所持していた2挺の鉄砲を大金をはたいて購入し、早速、鉄砲を鍛冶師八板金兵衛清定に、火薬の製法を笹川(篠川)小四郎に学ばせ、伝来から1年を待たずして国産化に成功しました。

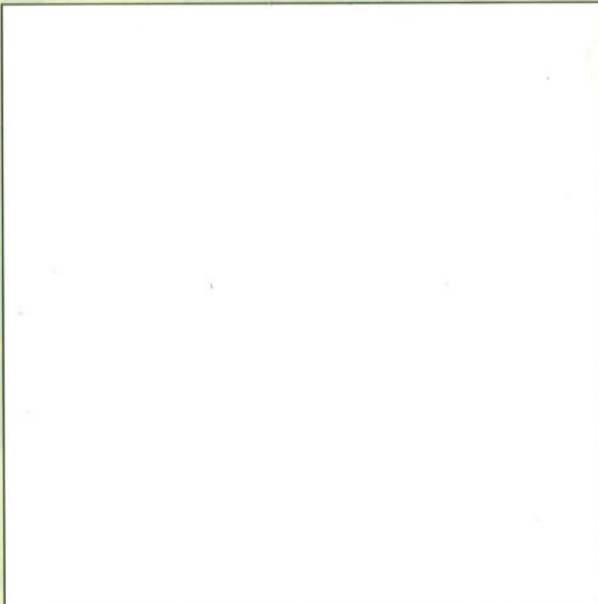
その製法は、瞬くうちに大阪の堺、滋賀県の国友へと伝播し大量に作られるようになりました。鉄砲の出現によって戦の方法が一変し、全国は統一へと進み長い戦国時代は終焉を迎えました。



ポルトガル初伝銃(県指定文化財)



伝八板金兵衛作火縄銃(市指定文化財)



記念スタンプ

入館料

	鉄砲館のみ		鉄砲館と月窓亭の共通	
	個人	団体 ^{20人以上}	個人	団体 ^{20人以上}
小中学生	140円	80円	160円	100円
高校生	280円	230円	360円	260円
一般	440円	380円	570円	470円

入館料無料 未就学児
身体障害者手帳、療育手帳及び障害者保健手帳の交付を受けている方(受付に手帳を提示してください)
入館料免除 障害者に同伴する介護者(障害者1人につき1人)

休館日

- ・毎月25日(7・8月は除く)
- ・資料整理日(臨時)

開館時間

- ・午前8時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

案内図



- 西之表港バス停から歩いて10分
- 支庁下バス停から歩いて5分
- 種子島空港から車で25分~30分

〒891-3101 鹿児島県西之表市西之表7585番地
TEL (0997) 23-3215 FAX (0997) 23-3250

館内のご案内

西之表市立 種子島開発総合センター 鉄砲館



Tanegashima Development Center
(Gun Museum)



国内外の鉄砲の展示

ポルトガルの初伝銃や国産第1号の火縄銃と伝えられている銃を始め、国内外の古式銃約100挺が展示されています。



ロマンを秘めた鉄砲伝来物語

天文12年(1543年)わが国にポルトガル人により初めて鉄砲が伝えられた様子をジオラマで紹介



ななひろこよう

七尋五葉の切株

和名をヤクタネゴヨウ。胸高周囲約12m、樹高約32m、推定樹齢約500年。昭和22年に白蟻の食害により伐採された。ヤクタネゴヨウは生長が早く、加工しやすいので丸木舟材として利用された。

幹の部分はレプリカ



民具の展示

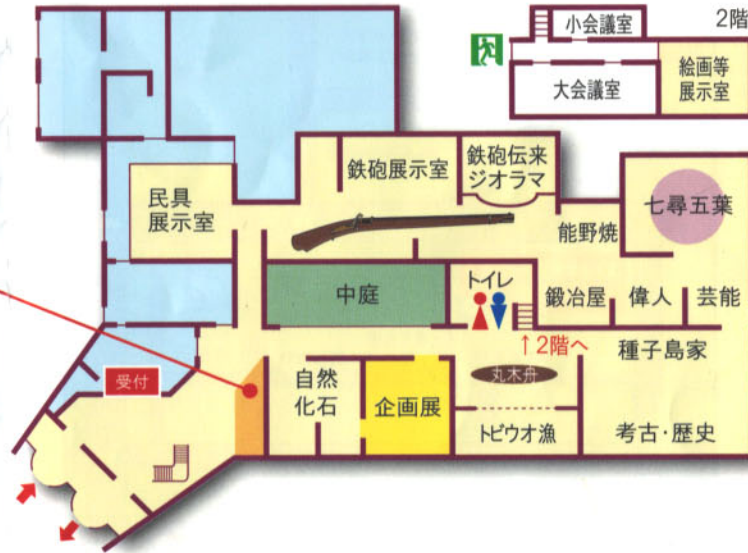
昔の生活の様子を再現



ビデオ (約10分)

私たちの種子島

種子島の自然、地理、歴史、民俗などを、まとめて紹介します。



芸能 種子島の様々な郷土芸能を写真とビデオで紹介。

ウシウマの骨格(市指定文化財)



種子島の丸木舟 昔のトビウオ漁の様子を紹介



隆帯文土器
(県指定文化財)
(縄文時代草創期)
奥ノ仁田遺跡より出土



鉄製釣針
(弥生時代後期~古墳時代)
上能野貝塚より出土



「山」文字の貝符
レプリカ(古墳時代)
南種子町広田遺跡より出土



たねばさみ はさみかじ

種子鉄(鉄鍛冶の復元)

天文12年(1543年)わが国に初めて鉄砲を伝えたポルトガル人と同船していた、中国人の鉄鍛冶により伝えられたと言われ、日本刀造りの技法を取り入れたわが国初の中間支点式の鉄です。